

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

 2025年1月31日
 東

上場会社名 株式会社山陰合同銀行 上場取引所
 コード番号 8381 URL <https://www.gogin.co.jp>
 代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 山崎 徹
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 高橋 毅 TEL 0852-55-1000
 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	96,307	8.7	19,392	24.6	13,147	26.1
2024年3月期第3四半期	88,593	10.1	15,559	△20.1	10,420	△23.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,249百万円(△83.4%) 2024年3月期第3四半期 7,535百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第3四半期	86.17		86.15	
2024年3月期第3四半期	67.33		67.30	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	8,081,943		317,499	3.9		
2024年3月期	7,360,564		325,089	4.4		

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 317,000百万円 2024年3月期 324,584百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2024年3月期	—	18.00	—	21.00	39.00
2025年3月期	—	24.00	—		
2025年3月期(予想)				24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	131,900	9.7	26,400	6.7	18,200	8.3	119.36	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P.7「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	156,977,472株	2024年3月期	156,977,472株
2025年3月期3Q	4,837,065株	2024年3月期	3,489,463株
2025年3月期3Q	152,575,536株	2024年3月期3Q	154,751,283株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 2024年3月期及び2025年3月期3Qの期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当行株式数(891,300株及び781,300株)を含めております。

また、2024年3月期3Q及び2025年3月期3Qの期中平均株式数(四半期累計)を算定するにあたり、株式給付信託(BBT)が保有する当行株式の期中平均株式数(944,785株及び827,300株)を控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. 決算補足説明資料	10
(1) 利益の状況 (連結)	10
(2) 利益の状況 (単体)	11
(3) 預金・貸出金・有価証券の状況 (単体)	12
(4) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況 (連結)	13
(5) 有価証券の評価差額の状況 (連結)	13
(6) 自己資本比率 (国内基準)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当行は、経営理念「地域の夢、お客様の夢をかなえる創造的なベストバンク」のもと、地域のリーディングバンクとして、「地域のお役に立つ」ことを基本方針として掲げております。

また、長期ビジョンを「No. 1の課題解決力で持続的に成長する広域地方銀行」と定め、地域・お客様の課題解決に貢献することで、地域・お客様とともに持続的に成長する姿を目指し、当期も積極的に事業支援活動等を行ってまいりました。

当期の経営成績を前第3四半期と比較すると、資金利益は、預金金利の引上げにより預金利息は増加しましたが、貸出残高の増加により貸出金利息が増加したことなどから前年同期比で増加しました。また、役員取引等利益は、コンサルティング部門の収益（預り資産関連手数料や法人ソリューション手数料）の増加を主因として、堅調に推移しました。一方で、大口先に対する与信費用の増加などの減少要因があったものの、顧客取引の拡大を成長ドライバーとして経常利益は、前年同期比38億33百万円増加の193億92百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比27億27百万円増加の131億47百万円となりました。

セグメントごとの業績につきましては、「銀行業」で経常収益が前年同期比84億69百万円増加の832億51百万円、セグメント利益は前年同期比50億61百万円増加の191億81百万円となりました。また、「リース業」では、経常収益が前年同期比32百万円減少の120億68百万円、セグメント利益は前年同期比1億32百万円減少の2億90百万円となり、クレジットカード業務等を行う「その他」では、経常収益が前年同期比18億98百万円減少の18億58百万円、セグメント利益は前年同期比23億80百万円減少の8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

預金等（譲渡性預金を含む）は、法人部門で減少した一方で、個人・金融機関・公金の各部門において増加したことから、期中1,859億円増加し、6兆4,166億円となりました。

貸出金は、金融機関・地方公共団体向け貸出で減少した一方で、個人・法人向けにおいて増加したことから、期中2,514億円増加し、4兆9,956億円となりました。

有価証券は、国債を中心とした投資を行ったことなどにより、期中5,702億円増加し、2兆1,289億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2024年11月11日に公表した2025年3月期の通期の業績見通しに変更はありません。

なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	886,423	742,491
コールローン及び買入手形	4,012	3,321
買入金銭債権	13,889	15,876
金銭の信託	4,993	5,016
有価証券	1,558,741	2,128,944
貸出金	4,744,248	4,995,681
外国為替	2,485	2,885
リース債権及びリース投資資産	28,155	29,483
その他資産	67,907	109,286
有形固定資産	34,326	34,680
無形固定資産	3,320	2,836
退職給付に係る資産	8,411	9,566
繰延税金資産	34,614	40,633
支払承諾見返	12,779	11,433
貸倒引当金	△43,612	△50,061
投資損失引当金	△134	△135
資産の部合計	7,360,564	8,081,943
負債の部		
預金	5,923,978	5,989,400
譲渡性預金	306,743	427,254
コールマネー及び売渡手形	44,665	493,349
債券貸借取引受入担保金	92,129	91,633
借入金	563,602	679,267
外国為替	41	29
その他負債	78,393	60,076
賞与引当金	948	—
退職給付に係る負債	8,706	8,563
株式給付引当金	418	416
役員退職慰労引当金	77	95
睡眠預金払戻損失引当金	168	154
その他の偶発損失引当金	785	790
繰延税金負債	20	15
再評価に係る繰延税金負債	2,015	1,962
支払承諾	12,779	11,433
負債の部合計	7,035,474	7,764,444

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
資本金	20,705	20,705
資本剰余金	22,058	22,058
利益剰余金	322,070	328,427
自己株式	△2,679	△4,604
株主資本合計	362,155	366,587
その他有価証券評価差額金	△42,381	△60,572
繰延ヘッジ損益	1,434	7,515
土地再評価差額金	2,251	2,130
退職給付に係る調整累計額	1,125	1,340
その他の包括利益累計額合計	△37,570	△49,586
新株予約権	30	30
非支配株主持分	475	468
純資産の部合計	325,089	317,499
負債及び純資産の部合計	7,360,564	8,081,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
経常収益	88,593	96,307
資金運用収益	54,621	64,539
(うち貸出金利息)	38,166	45,074
(うち有価証券利息配当金)	13,840	15,457
役務取引等収益	12,836	13,725
その他業務収益	15,073	12,515
その他経常収益	6,061	5,527
経常費用	73,033	76,914
資金調達費用	4,824	10,218
(うち預金利息)	894	3,761
役務取引等費用	3,472	3,842
その他業務費用	27,258	22,999
営業経費	30,390	30,710
その他経常費用	7,087	9,143
経常利益	15,559	19,392
特別利益	19	118
固定資産処分益	19	118
特別損失	259	512
固定資産処分損	41	57
減損損失	217	455
税金等調整前四半期純利益	15,320	18,998
法人税、住民税及び事業税	5,891	6,737
法人税等調整額	△1,005	△888
法人税等合計	4,886	5,849
四半期純利益	10,434	13,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,420	13,147

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	10,434	13,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,604	△18,196
繰延ヘッジ損益	3,367	6,081
退職給付に係る調整額	337	214
その他の包括利益合計	△2,899	△11,900
四半期包括利益	7,535	1,249
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,519	1,253
非支配株主に係る四半期包括利益	15	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)
(税金費用の処理)

一部の連結子会社の税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	73,304	11,980	85,284	3,308	88,593	—	88,593
セグメント間の内部 経常収益	1,477	120	1,598	448	2,046	△2,046	—
計	74,782	12,100	86,882	3,756	90,639	△2,046	88,593
セグメント利益	14,120	422	14,542	2,388	16,931	△1,371	15,559

- (注) 1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。
 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業等を含んでおります。
 3 セグメント利益の調整額△1,371百万円は、全てセグメント間取引消去によるものであります。
 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「銀行業」において、事業用の土地・建物・動産及び遊休資産に区分された土地・建物・動産並びに使用中予定のソフトウェアについて、減損損失を計上しております。このほか、「その他」の区分においては、不動産賃貸業で遊休資産に区分された建物について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、217百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	83,004	11,943	94,948	1,358	96,307	—	96,307
セグメント間の内部 経常収益	246	124	371	499	871	△871	—
計	83,251	12,068	95,319	1,858	97,178	△871	96,307
セグメント利益	19,181	290	19,471	8	19,480	△87	19,392

- (注) 1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。
 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業等を含んでおります。
 3 セグメント利益の調整額△87百万円は、主にセグメント間取引消去によるものであります。
 4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「銀行業」において、遊休資産に区分された土地・建物・動産について、減損損失を計上しております。このほか、「その他」の区分においては、不動産賃貸業で減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、455百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,300百万円	2,502百万円
のれん償却額	一百万円	8百万円

3. 決算補足説明資料

(1) 利益の状況（連結）

連結ベースの経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の状況は、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)連結経営成績に関する定性的情報」に記載のとおりです。

	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	前第3四半期 連結累計期間 (自2023年 4月 1日 至2023年 12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2024年 4月 1日 至2024年 12月31日)	増 減	(参 考) 通期予想計数 (自2024年 4月 1日 至2025年 3月31日)
連結経常収益	88,593	96,307	7,714	131,900
連結粗利益	46,976	53,719	6,743	(進捗率 73.0%)
資金利益	49,797	54,320	4,523	
役務取引等利益	9,363	9,882	519	
その他業務利益	△12,185	△10,484	1,701	
うち債券関係損益	△8,604	△3,796	4,808	
営業経費	30,390	30,710	320	
一般貸倒引当金繰入額 (A)	982	3,256	2,274	
不良債権処理額 (B)	5,837	5,361	△476	
貸出金償却	7	8	1	
個別貸倒引当金繰入額	5,532	4,807	△725	
債権売却損	171	293	122	
その他	126	252	126	
貸倒引当金戻入益 (C)	-	-	-	
株式等関係損益	4,546	3,620	△926	
その他	1,248	1,381	133	
経常利益	15,559	19,392	3,833	26,400
特別損益	△239	△394	△155	(進捗率 73.4%)
税金等調整前四半期純利益	15,320	18,998	3,678	
法人税、住民税及び事業税	5,891	6,737	846	
法人税等調整額	△1,005	△888	117	
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	1	△12	
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	10,420	13,147	2,727	18,200
				(進捗率 72.2%)
《参考》与信費用 (A) + (B) - (C)	6,820	8,618	1,798	

(注) 1. 「(参考)通期予想計数(自2024年4月1日 至2025年3月31日)」は、2024年11月11日に公表したものです。

2. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(2) 利益の状況（単体）

当期の経営成績を前第3四半期と比較すると、資金利益は、預金金利の引上げにより預金利息は増加しましたが、貸出残高の増加により貸出金利息が増加したことなどから前年同期比で増加しました。

また、役務取引等利益は、コンサルティング部門の収益（預り資産関連手数料や法人ソリューション手数料）の増加を主因として、堅調に推移しました。

一方で、大口先に対する与信費用の増加などの減少要因があったものの、顧客取引の拡大を成長ドライバーとして経常利益は、前年同期比50億61百万円増加の191億81百万円となりました。

また、四半期純利益は、前年同期比31億3百万円増加の130億74百万円となりました。

	(単位：百万円)			(単位：百万円)
	前第3四半期累計期間 (自2023年 4月 1日 至2023年 12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年 4月 1日 至2024年 12月31日)	増 減	(参 考) 通期予想計数 (自2024年 4月 1日 至2025年 3月31日)
経常収益	74,782	83,251	8,469	113,200
業務粗利益	46,437	51,800	5,363	(進捗率 73.5%)
資金利益	51,172	54,509	3,337	
うち投資信託解約益	2,965	2,194	△771	
役務取引等利益	8,700	9,032	332	
その他業務利益	△13,434	△11,741	1,693	
うち債券関係損益	△8,603	△3,788	4,815	
経費(除く臨時費用処理分)	28,615	28,882	267	
うち人件費	14,696	14,492	△204	
うち物件費	12,268	12,647	379	
一般貸倒引当金繰入額 (A)	1,181	3,249	2,068	
業務純益	16,641	19,668	3,027	(進捗率 75.2%)
実質業務純益	17,822	22,918	5,096	
コア業務純益	26,426	26,706	280	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	23,460	24,511	1,051	
臨時損益	△2,519	△483	2,036	
うち不良債権処理額 (B)	5,484	5,233	△251	
うち個別貸倒引当金繰入額	5,216	4,717	△499	
うち貸倒引当金戻入益 (C)	-	-	-	
うち株式等関係損益	2,148	3,615	1,467	
うち退職給付費用(臨時費用処理分)	484	308	△176	
経常利益	14,120	19,181	5,061	25,500
特別損益	△237	△466	△229	
税引前四半期純利益	13,883	18,714	4,831	
法人税等合計	3,911	5,640	1,729	
四半期(当期)純利益	9,971	13,074	3,103	17,600
				(進捗率 74.2%)
《参考》与信費用 (A) + (B) - (C)	6,666	8,483	1,817	

(注) 1. 「(参考)通期予想計数(自2024年4月1日 至2025年3月31日)」は、2024年11月11日に公表したものです。

2. 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額

3. コア業務純益＝実質業務純益－債券関係損益

4. コア業務純益(除く投資信託解約損益)＝コア業務純益－投資信託解約損益
(投資信託解約損は債券関係損益に計上しております)

(3) 預金・貸出金・有価証券の状況（単体）

預金等（譲渡性預金を含む）は、法人部門で減少した一方で、個人・金融機関・公金の各部門において増加したことから、期中1,843億円増加し、6兆4,266億円となりました。
貸出金は、金融機関・地方公共団体向け貸出で減少した一方で、個人・法人向けにおいて増加したことから、期中2,565億円増加し、5兆248億円となりました。
有価証券は、国債を中心とした投資を行ったことなどにより、期中5,700億円増加し、2兆1,283億円となりました。

① 期末残高

（単位：百万円）

	2024年3月末	2024年12月末	増 減
預金等	6,242,367	6,426,685	184,318
預金	5,935,623	5,999,430	63,807
譲渡性預金	306,743	427,254	120,511
貸出金	4,768,310	5,024,854	256,544
うち消費者ローン	1,240,460	1,329,830	89,370
住宅ローン	1,115,809	1,197,405	81,596
その他ローン	124,651	132,425	7,774
有価証券	1,558,229	2,128,324	570,095
株式	47,824	46,553	△1,271
債券	658,496	1,265,293	606,797
その他	851,908	816,477	△35,431

② 期中平均残高

（単位：百万円）

	2023年度 第3四半期累計期間	2024年度 第3四半期累計期間	増 減
預金等	5,814,801	6,502,852	688,051
預金	5,592,969	5,960,260	367,291
譲渡性預金	221,832	542,592	320,760
貸出金	4,426,133	4,850,383	424,250
有価証券	1,604,625	1,906,738	302,113

（ご参考）預り資産残高

（単位：百万円）

	2024年3月末	2024年12月末	増 減
当行 年金保険（※1）	179,271	180,844	1,573
野村証券(株) 仲介口座（※2）	831,672	886,030	54,358
債券	138,996	145,003	6,007
株式	259,614	265,069	5,455
投資信託	324,185	359,077	34,892
投資一任勘定	103,115	111,158	8,043
その他	5,760	5,721	△39

※1 「当行 年金保険」には、一時払個人年金保険の販売累計額を記載しております。

※2 「野村証券(株) 仲介口座」には、野村証券株式会社との包括的業務提携による、同社を委託元とする金融商品仲介口座の残高を記載しております。

(4) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況 (連結)

(単位：百万円)

	2024年3月末	2024年12月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	17,784	18,072	288
危険債権	30,543	35,234	4,691
要管理債権	17,677	14,726	△2,951
三月以上延滞債権	46	549	503
貸出条件緩和債権	17,630	14,176	△3,454
小計 (リスク管理債権) (A)	66,005	68,033	2,028
正常債権	4,826,418	5,085,787	259,369
総与信(合計) (B)	4,892,424	5,153,821	261,397

不良債権比率 (%) (A) / (B)	1.34	1.32	△0.02
----------------------	------	------	-------

(注) 当行は、部分直接償却を実施しておりません。

(5) 有価証券の評価損益の状況 (連結)

満期保有目的の債券の評価損益は、期中4億円減少し△13億円となりました。その他有価証券の評価損益は、株式、債券、その他で減少したことにより、期中261億円減少し△870億円となりました。

(単位：百万円)

	2024年3月末			2024年12月末		
	評価損益	うち益	うち損	評価損益	うち益	うち損
満期保有目的の債券	△924	15	939	△1,394	1	1,395
その他有価証券(※)	△60,900	49,625	110,525	△87,045	49,071	136,116
株式	33,374	33,620	245	31,893	32,038	144
債券	△21,018	628	21,646	△40,686	264	40,950
国債	△16,638	8	16,647	△32,534	-	32,534
地方債	△3,347	352	3,699	△6,077	131	6,209
短期社債	-	-	-	-	-	-
社債	△1,032	267	1,300	△2,074	132	2,206
その他	△73,256	15,376	88,633	△78,252	16,768	95,021
外国証券	△25,600	429	26,030	△27,707	5	27,713
その他の証券(投資信託等)	△47,656	14,946	62,603	△50,544	16,762	67,307
合 計	△61,824	49,641	111,465	△88,439	49,072	137,511

※ なお、金利リスク低減を目的とする金利スワップによる繰延ヘッジの評価損益、及び、その他有価証券の評価損益との合算は、次のとおりです。

(単位：百万円)

	2024年3月末	2024年12月末
金利スワップ	2,078	10,822
その他有価証券の評価損益との合算	△58,822	△76,222

(6) 自己資本比率 (国内基準)

自己資本比率 (国内基準) については、現在集計作業中であり、計数が確定次第、別途お知らせします。